

競 技 注 意 事 項

1 本大会は2016年日本陸上競技連盟規則および本大会要項に従って行う。

2 選手の招集について

- (1) トラック競技の招集場所は、100mスタート後方のゲート内側に設ける。
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、全てその競技の開始時刻を基準として次の通りとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	15分前
フィールド競技	45分前	30分前

(3) 招集方法

- ・点呼は時間を守り、必ず本人が行くこと
- ・招集完了時刻に遅れた選手は、当該競技種目を棄権したものとみなす。

<トラック競技>

- ・競技者係のところに行き自分のナンバーカードを見せ、自分の種目・組・レーン氏名を伝え、出場することを競技者係に伝え確認を受ける。
- ・点呼が終了しても、勝手に移動せず、競技者係の指示に従う。

<フィールド競技>

- ・競技の進行に注意し、各競技場所に時間までに集合する。
- ・競技場所において、審判員に点呼を受ける。
- ・点呼が終了しても、勝手に移動せず、審判員の指示に従う。

<混成競技>

- ・上記のトラック競技、フィールド競技の要領と同じとする。

3 トラック競技について

- (1) 同種目でも、組によって点呼時間が異なるので注意する。
- (2) トラック競技の出場者は、スタート前に競技者係（点呼場所）より腰ナンバーカードを借り受け、短パン右腰やや後ろにつける。フィニッシュ後、係の指示に従い返却する。
- (3) 事故防止のため、短距離ではフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走る。
- (4) リレーのオーダーは次の時間通りに競技者係へ提出する。

各ラウンドの1組目の招集完了時刻の60分前まで

- (5) トラック競技の準決勝・決勝の走路順は本部において抽選決定し掲示する。
- (6) トラック競技のプラスアルファが、規定数より多いときは、0.001秒以上の差が認められれば着差ありとし決定する。この結果、まだ同成績がいる場合には本部にて抽選とする。
- (7) 男女800m予選は安全の確保のため、階段スタートで行う。
- (8) 男女1500m決勝は、16名で行う。

4 フィールド競技について

- (1) 走高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。
男子 走高跳（練習1m35） 1m40（以後5cm上げ） 1m65以後3cm上げとする
女子 走高跳（練習1m15） 1m20（以後5cm上げ） 1m40以後3cm上げとする
- (2) 四種競技の走高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。
男子 走高跳（練習1m30） 1m35 1m40（以後3cm上げ）
女子 走高跳（練習1m10） 1m15 1m20（以後3cm上げ）
- (3) 棒高跳びのバーの上げ方は次の通りとする。
2m30 20cm上げ 2m70以後10cm上げ
- (4) 走幅跳と砲丸投については予選を行う。予選通過標準記録は下記の通り。
男子 走幅跳 5m20 砲丸投 8m50
女子 走幅跳 4m40 砲丸投 8m00
- (5) 走幅跳、砲丸投における計測ラインは以下の通りとする。（当日の天候などによる変更あり）
男子 走幅跳 4m20 砲丸投 7m00
女子 走幅跳 3m40 砲丸投 7m00
- (6) 予選通過の標準記録を越えた者が12名に満たない場合は、上位から12名および12番目と同順位の競技者を決勝に出場させる。

5 その他

- (1) 8位までの入賞者には賞状を授与し、3位までの入賞者にはメダルを授与する。
- (2) 表彰は決勝終了後ただちに行うので、8位までに入賞した選手はそのまま本部前に集合すること。他の種目と重なって出られないときは代理の者を出すこと。
- (3) 選手以外の者は、絶対、競技場内に立ち入らないこと（特に本部前は通行禁止）。
- (4) 自分のごみは、持ち帰ること。
- (5) 札幌市中体連陸上競技大会心得をよく読み、競技者としてまた中学生として恥ずかしくない行動をとること。
- (6) 1500mで周回遅れになった競技者には、競技を中止させる。3000mでは、先頭の走者が2600mを通過する前に周回遅れとなった競技者には、競技を中止させることもある。但し、プラスアルファに支障をきたす場合は、この限りではない。
- (7) 400mにおいては、A決勝・B決勝の2つの決勝を行う。（Aから準決勝のタイムの遅い順に番編を行う。順位の設定はA・B決勝タイムレースとする。）
- (8) 競技規則第145条2及び第162条5の適用により警告を2回受けた競技者は失格とし、この競技会における以後の全ての種目に出場できなくなる。
- (9) 盗撮行為防止のため、競技者の迷惑のかかる恐れのあるすべての方向からの撮影・行動を禁止します。（例えば、トラック種目スタート時の前方・後方からの撮影や走幅跳砂場正面からの撮影など）。また、競技場内で撮影した全ての写真・動画は確認させていただく場合がございます。